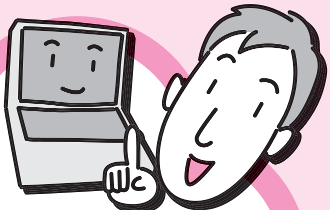
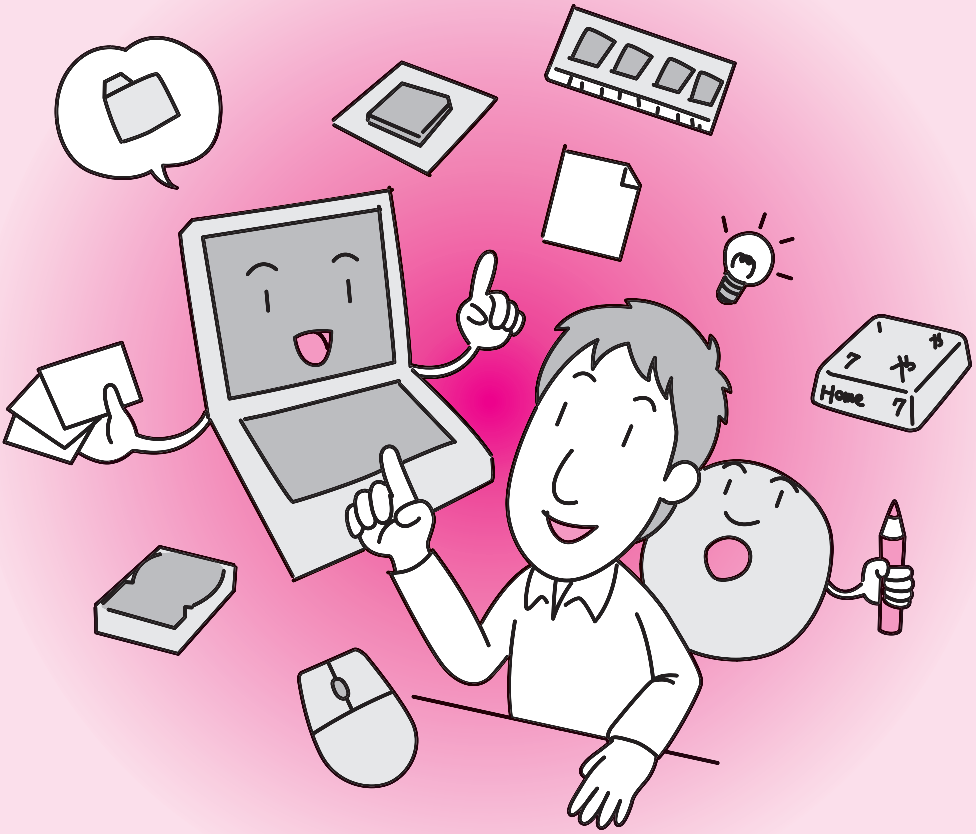
TOSHIBA

Start Guide
スタートガイド





パソコンの基本を学んで楽しく使おう

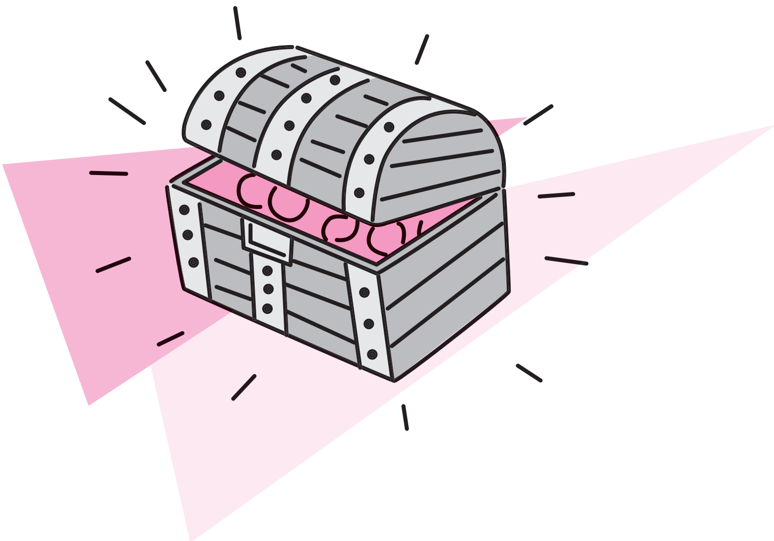
dynabook

はじめに

パソコンは便利な道具です。
でも、操作は非常にむずかしい、使いこなせないと思っている人も多いのではないでしょうか？
確かにパソコンはいろいろなことができるので、むずかしいと思うのも無理はありません。

しかしパソコンは、あなたからの指示がないと動くことができません。
指示といっても、むずかしいことではありません。キーボードやタッチパッド、マウスを使ってあなたのやりたいことを選んでいけばよいのです。

あなたがやりたいことをしっかりとパソコンに伝えることができれば、便利な道具へ変身させることができます。
この本は、パソコンを便利な道具に変えるための第一歩を楽しく解説していきます。



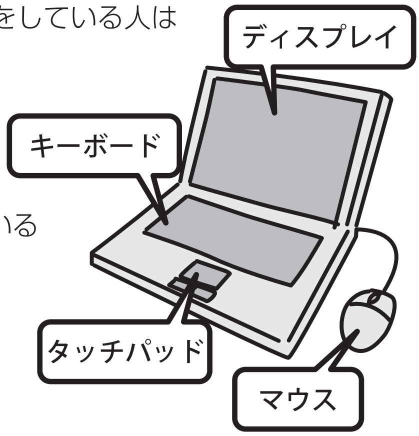
もくじ

1 パソコンのしくみを知ろう

パソコンの操作は簡単？

あなたの周囲にパソコンを上手に使って、いろいろな作業をしている人はいませんか？

その人をよく見てみましょう。
キーボードやタッチパッド、マウスを操作すると、ディスプレイにいろいろなものが表示されたり、消えたりしているでしょう。

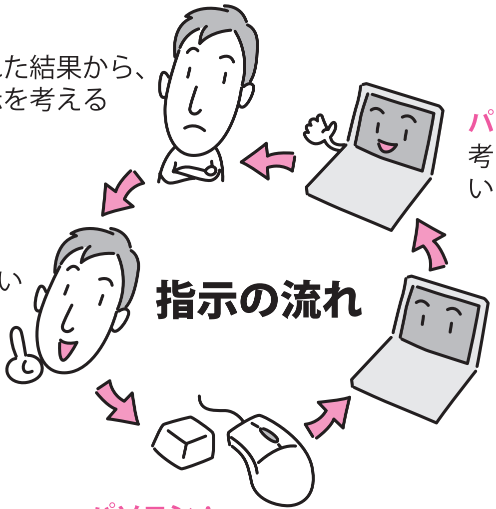


この操作を簡単な図にしてみると、次のようになります。

人：
表示された結果から、
次の指示を考える

パソコン：
考えた結果を指示して
いる人に伝える

人：
パソコンにやりたい
ことを指示



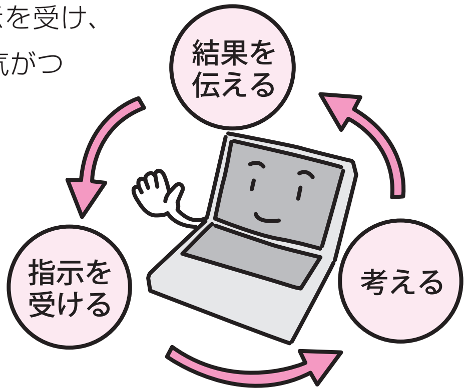
パソコン：
指示に従い、考える

パソコン：
キーボードやタッチパッド、
マウスから指示を受ける

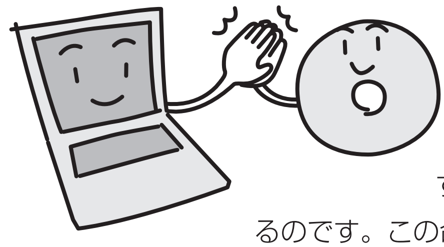
このように、あなたがパソコンに指示すると、その結果をパソコンがあなたに見せる。あなたは見た結果から、次の指示を与えるというくり返し作業をしているのです。

ハードウェア＋ソフトウェア＝便利な道具？

パソコンが行う作業を見てみると、あなたからの指示を受け、考え、伝えるという３つに分かれているということに気がつくでしょう。



ここでパソコン本体を見てみましょう。



指示を受けるキーボードや結果を伝えるディスプレイは、目に見える形で存在しますね？これらを含めたパソコン本体のことを、ハードウェアといいます。ハードウェアは、単体ではうまく動くことができません。実はパソコンの内部には、ハードウェアを動かすための、いろいろな命令や手順がまとめられたものがあるのです。この命令や手順をまとめたものを、ソフトウェアといいます。ソフトウェアは、ディスプレイに表示されている結果などで見えますが、実際には形のないものです。

このハードウェアとソフトウェアがあって、はじめてパソコンは、あなたの指示で動くのです。

テレビに例えるなら、テレビ本体がハードウェアで、テレビ番組がソフトウェアということになるでしょう。
テレビ本体だけあっても、テレビ番組がなければただの箱になってしまいます。パソコンも、ソフトウェアがなければ、ただの箱なのです。

この２つのものが組み合わさることで、パソコンが便利な道具になるのです。



2 ハードウェアってなに？

ハードウェアの役割？

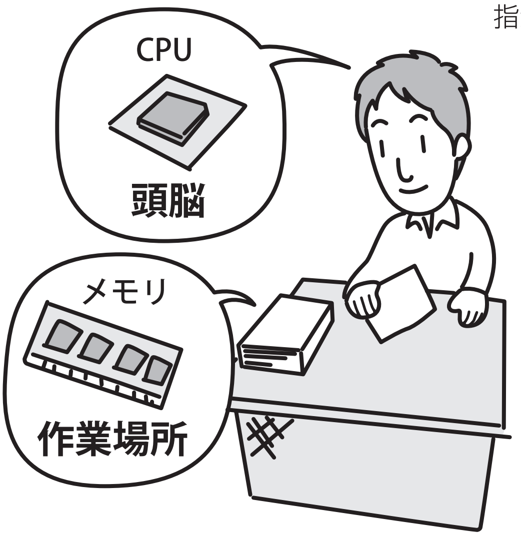
それでは、ハードウェアの役目について説明しましょう。

ハードウェアは、あなたからの指示を受ける、考える、記憶する、答えを伝えるという役割を持っています。

あなたがパソコンに指示をするには、キーボードやタッチパッド、マウスを使います。



パソコンにも考える場所があるの？



指示はパソコンの頭脳である CPU という部分に届けられます。CPU はメモリという作業場所を使って作業を行ない、結果を出します。

この作業場所であるメモリは、よく「机」に例えられています。

あなたが勉強や仕事をするとき作業を行なう「机」と同じですね。

例えば、さまざまな作業を一度に行わなければならないときなど、大きな机で作業したほうが効率よく作業ができるように、メモリの大きさも大きいほうが CPU も効率よく作業できるのです。

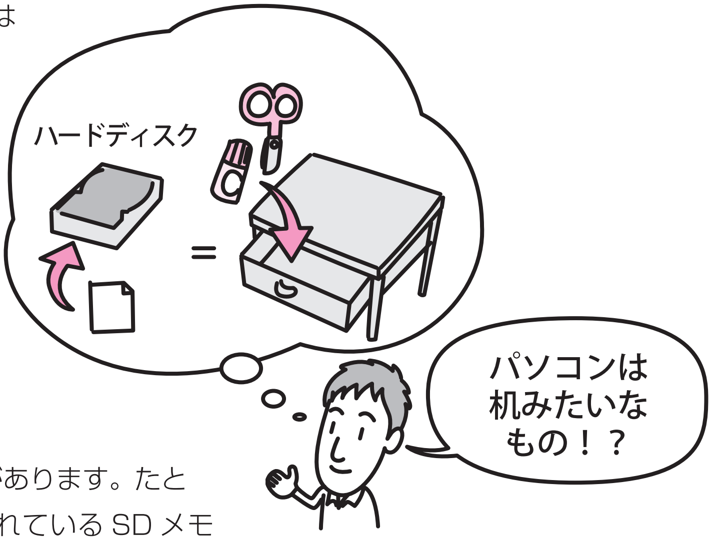
CPU とメモリの関係は、机（メモリ）に座って作業している人（CPU）と同じように思えてきますね。

考えた結果をしまう場所あるの？

机の上で作業していると、ときには「のり」や「はさみ」などが必要になったり、できたものをしまう場所があると便利ですよね？

パソコンにもちゃんと作り出したものや、必要な道具をしまう場所があるのです。

それがハードディスクやフロッピーディスク、CD、DVD、メモリカードなどになります。



メモリカードにもいろいろな種類があります。たとえば、デジタルカメラなどで使われているSDメモリカードやメモリースティックなどがあります。



ただし、パソコンによって使えるものが異なるので、詳しくは『活用ガイド』をご覧ください。

結果はどうやって教えてくれるの？



今度は考えた結果をあなたに伝えなければいけません。

パソコンはあなたにディスプレイに結果を表示して伝えています。あなたはディスプレイを見ることで、パソコンがどのように結果をだしてきたのかを知ることができるのです、

あなたが指示したことに対し、結果を出してくれる。なにやらパソコンの操作って、パソコンとの会話のように思えませんか？

3 ソフトウェアってなに？

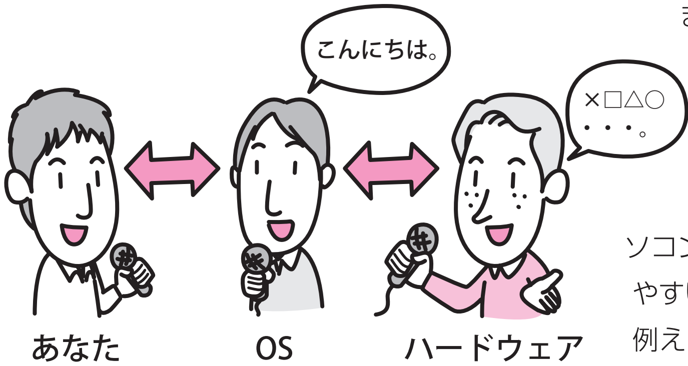
ソフトウェアの役割？

では、ソフトウェアとはどんな役割をもっているのでしょうか？
ハードウェアにある CPU やメモリは考えることはできますが、「何をどうする」などの具体的な指示がなければ、動くことはできません。
もちろん「何をどうする」の指示はあなたが出すのですが、あなたからの指示を具体的にハードウェアに伝え、ハードウェアから戻ってきた答えをあなたに伝える役割を持っているのがソフトウェアなのです。



ソフトウェアは大きく分けると、オペレーティングシステム（OS）とアプリケーションの 2 つに分けられます。
それぞれの役割はどんなものなのでしょう？

OS は何をしているの？

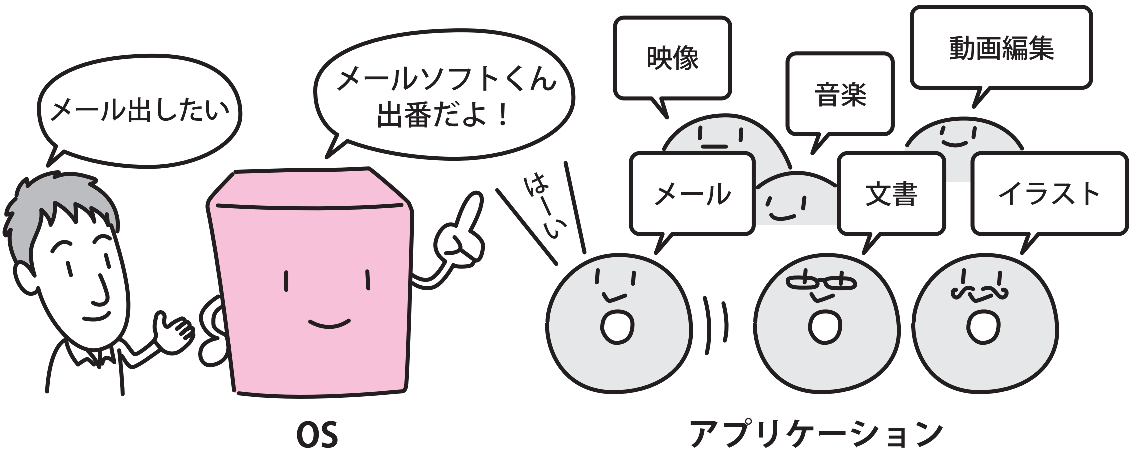


まず OS から説明しましょう。
OS は、あなたとパソコンの間に入って通訳をする役割を持っています。あなたが出した指示をパソコンが理解できるように指示し、パソコンが出してきた答えをあなたにわかりやすいように表示したりします。
例えるなら、外国人へのインタビューみたいなものです。

OS は、パソコンと会話をするために、なくてはならない重要な存在です。
OS の仕事は、画面上にアイコンや文字を表示させたり、タッチパッドやマウスの動きにあわせて画面上のポインタ（ ）を動かしたりすることです。

アプリケーションは何をしているの？

アプリケーションは、目的に応じて利用するソフトウェアのことで、文書を作成する、計算する、メールのやりとりをする、年賀状をつくるなど、それぞれ専門的な役割を持っています。アプリケーションは、OS がはいっていないパソコンでは使うことができません。



東芝のパソコンには、いろいろなアプリケーションが入っています。どんなアプリケーションが入っているかは、『同梱物一覧』をご覧ください。
また、それぞれのアプリケーションの使いかたは、『オーディオ＆ビジュアルガイド』や≪オンラインマニュアル≫をご覧ください。



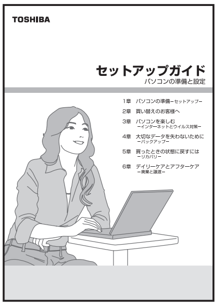


パソコンが便利な道具だといわれる理由は、どうやらこれらのアプリケーションで、いろいろなことができるからのようですね。
アプリケーションは、もともとパソコンに入っているものだけではなく、あなたのやりたいことに合わせてお店で購入して使うこともできます。ただし、購入のときは東芝のパソコンで動くことを確認してから購入しましょう。

4 まずはさわってみよう

パソコンにどうやって指示を出すの？

パソコンの操作は、キーボードやタッチパッドとマウスでやりたいことをきちんと指示ができれば、便利な道具として使えそうだ！ということに気がつきましたか？
ここではパソコンに指示を出す方法の１つである、タッチパッド、マウスの操作を説明しましょう。

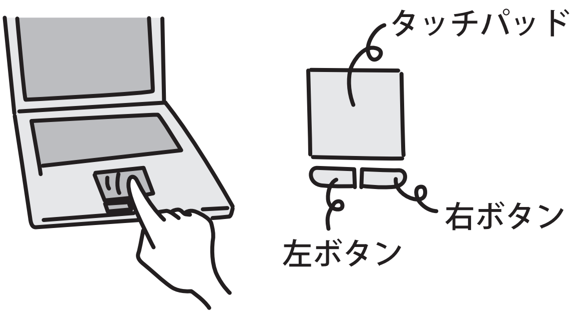


まず、電源を入れて起動してみましょう。
電源の入れかたは、『セットアップガイド』をご覧ください。

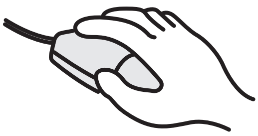


画面上に（ ）が表示されていませんか？これを「ポインタ」といいます。
この「ポインタ」をタッチパッドやマウスを使って動かし、パソコンに指示するのです。

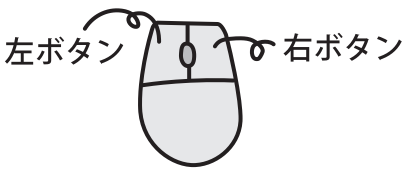
実際にポインタを動かしてみましょう。



あなたがタッチパッドから指示を出す場合、タッチパッドの上でやさしく指をすべらせてみてください。画面上では、滑らせた指の方向や速度に応じて「ポインタ」が動きます。



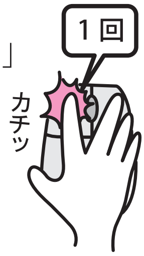
マウスから指示を出す場合、マウスを机などの平らな場所にのせてすべらせると、その方向に「ポインタ」が動きます。
マウスを持つときは、マウスを手のひらで包むように持ち、人さし指と中指を各ボタンの上に置きましょう。



どうですか？「ポインタ」を動かすことができましたか？
はじめはなかなか思ったように動かせないかもしれません。しかし、動かしているうちに自分の思ったところに「カーソル」を動かせるようになります。落ち着いて練習してみましょう。

マウスやタッチパッドを使うには？

次に、「ポインタ」で “ 選ぶ ” という操作をしてみましょう。



クリック

左ボタンを 1 回押してください。この操作が選ぶという操作になり、「クリック」といいます。



ダブルクリック

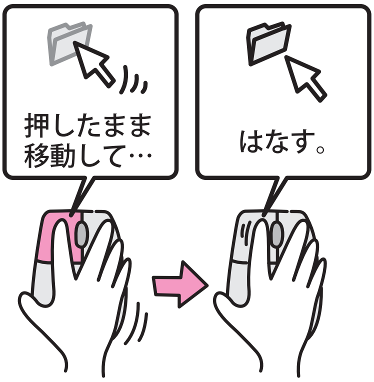
今度は「ポインタ」で “ 実行する ” という操作をしてみましょう。左ボタンをすばやく 2 回押してください。この操作を「ダブルクリック」といいます。ファイルを開く、アプリケーションを起動するときなどに使います。

それでは≪できる dynabook ≫をクリックして、起動してみましょう。
ポインタを  【できる dynabook】の上に移動し、クリックしてください。
≪できる dynabook ≫が起動しましたか？

右ボタンを 1 回押し、メニューを表示させる「右クリック」や、アイコンやウィンドウを移動する「ドラッグアンドドロップ」という指示があります。



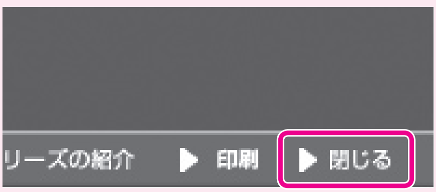
右クリック



ドラッグ & ドロップ

この他にもマウスやタッチパッドを使った操作があります。これらは、≪できる dynabook ≫をご覧ください。

このように「ポインタ」をうまく使うことで、あなたのやりたいことをパソコンに指示する。これがパソコンを便利な道具として使うための第 1 歩といえるでしょう。



≪できる dynabook ≫を閉じるにはポインタを「閉じる」ボタンに合わせ、クリックします。

5 デスクトップは魔法の机？

パソコンの作業も机の上？

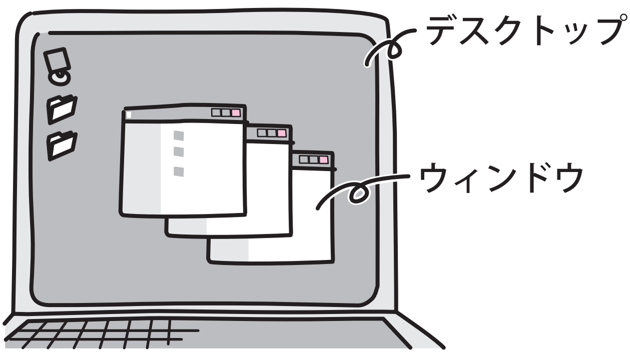
パソコンの画面に表示される画面全体を「デスクトップ」といいます。これは、パソコンの画面が机を上から眺めた状態に似ているからです。
デスクトップの上で文字を書いたり、絵を描いたり、計算をしたりと、いろいろな作業ができます。



まるで普段、机の上で作業をするのと同じような感覚ですね。



デスクトップ上で作業をするときに、ファイルを開いたりすると表示される窓のような四角い枠がありますね？これを「ウィンドウ」といいます。

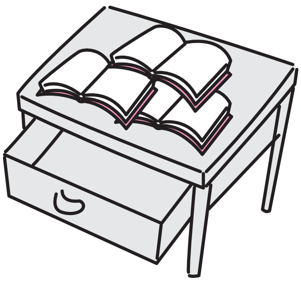


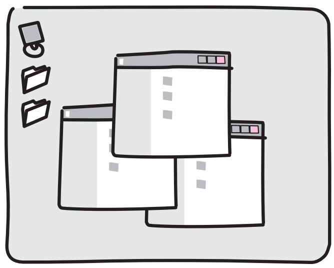
ウィンドウは操作できるの？

ウィンドウはデスクトップ上で複数開けます。机の上で本を何冊も広げている状態に似ていますね。

複数のウィンドウを開くと、ウィンドウ同士が重なってしまいます。この状態では、操作できるウィンドウは一番上にあるものだけです。

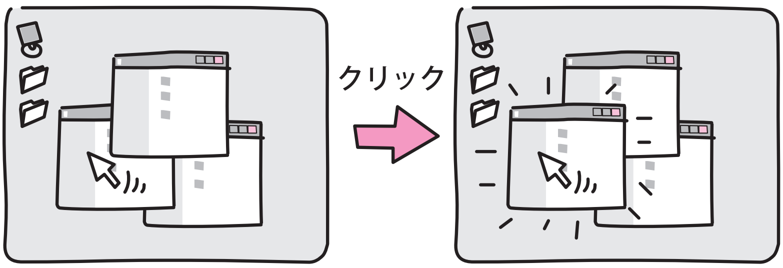
デスクトップは机を真上から見た状態と同じといいましたね。画面上ではわかりにくいかもしれませんが、ウィンドウが重なっている状態は、机の上で開いた本が積み重なっているのと同じことなのです。





操作したいウィンドウが一番上にないときは、一番上にしたいウィンドウの一部分をクリックしましょう。

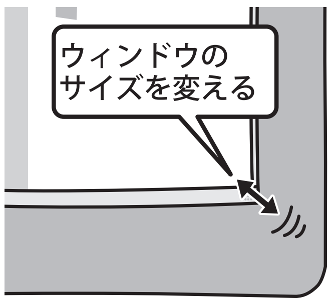
クリックしたウィンドウが、デスクトップ上で一番上に表示されます。



このほかにもウィンドウの操作はいろいろあります。

例えば、カーソルでウィンドウの右下枠をドラッグアンドドロップすると、ウィンドウの大きさを変更できます。

このような操作は、≪できる dynabook ≫をご覧ください。



6 文字を入力してみよう

文字の入力はどうすればよいの？

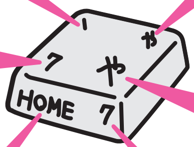
パソコンに指示するのはタッチパッドやマウスだけではありません。文字の入力には、キーボードを使います。マウス操作と文字入力ができるようになれば、パソコンを便利に使いこなすことも目の前です。

文字を入力するまえに、キーボードをよく見てください。いろいろと文字が書いてありますね？これは、入力できる文字や記号をあらわしています。１つのキーで、２～６種類の文字や記号を入力することができます。

■ 左上
[SHIFT] キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの文字が入力できます。

■ 左下
他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの文字が入力できます。

■ 前面左
[FN] キーと [F10] キーを同時に押してモードを切り替えた状態で、カーソルを動かすキーとして使えます。



■ 右上
かな入力ができる状態で [SHIFT] キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音（小さい「っ」）、拗音（小さい「ゃ、ゅ、ょ」）が入力できます。

■ 右下
かな入力ができる状態で押すと、ひらがなが入力できます。

■ 前面左
[FN] キーと [F11] キーを同時に押してモードを切り替えた状態で、数字（テンキー）入力のためのキーとして使えます。

文字の入力は「かな入力」と「ローマ字入力」の２つの方法があります。
主に「かな入力」はキートップの右下部分、「ローマ字入力」は左下部分を使って入力します。

例えば、「ぱそこん」と入力するには、次のようにキーボードを入力します。

「かな入力」　[は] [゜] [そ] [こ] [ん]

「ローマ字入力」　[P] [A] [S] [O] [K] [O] [N]

同じ「ぱそこん」と入力するにも、「かな入力」と「ローマ字入力」では、入力するキーが違いますね。
文字の入力に関する詳しい操作方法は、≪できる dynabook ≫をご覧ください。

入力できる文字は、ひらがなや英数字だけ？

キーボードを使えばアルファベットや数字、記号なども入力することができます。
ひらがな、英数字のほかにも、ちょっとした操作で入力できる楽しい文字を紹介しましょう。

メールなどの文章を入力するときに、＼(^o^)／ や (^_^;) などの顔のマークを入れると、楽しく文字のやりとりができそうですね。
これらの文字を「顔文字」と読んでいます。
文字だけのやり取りは意外と誤解を招いたりすることも多いものです。気持ちを表す顔文字が文章の中に入っていると、受け取る方もちょっと違った気分になるでしょう。

にこにこ	!(^^)!　(^^)v　(^_^)　(^.^)　(^_^)v
むか	(–"–)　(–_–メ)　(・へ・)　(——¯)　<｀～´>
ごめん	<m(__)m>　<(_ _)>　_(^_^)_　_(._.)_
あせ	(^_^;)　(^^ゞ　(・_・;)　^_^;　(・。・;
びっくり	(*_*)　(+_+)　(@_@;)　＼(◎o◎)／！

顔文字の入力は難しそうに思えますが、実はパソコンには文字を変換するために、いろいろな辞書が入っています。その中に、簡単に顔文字に変換できる辞書も入っているのです。

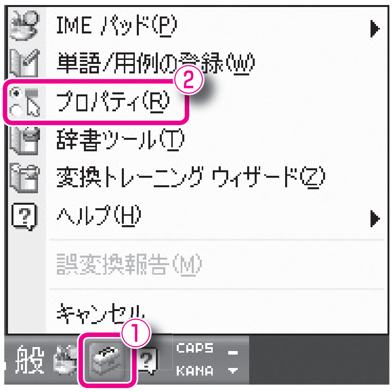
顔文字を入力するために必要な設定は？

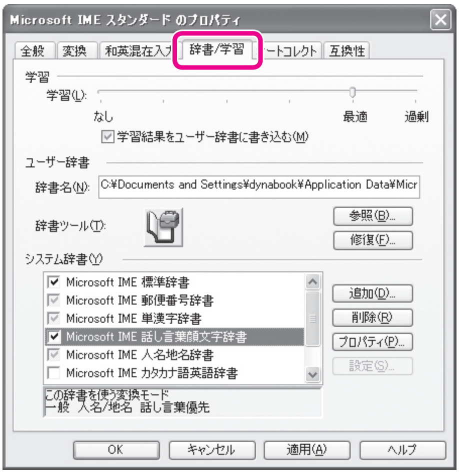
それでは、顔文字の辞書を使えるように設定してみましょう。
設定は MS-IME という日本語入力機能で行います。

1 **IME のツールバーの（ ）をクリックする①**

2 **表示されたメニューから、[プロパティ] をクリックする②**

[Microsoft IME スタンダードのプロパティ] 画面が表示されます。

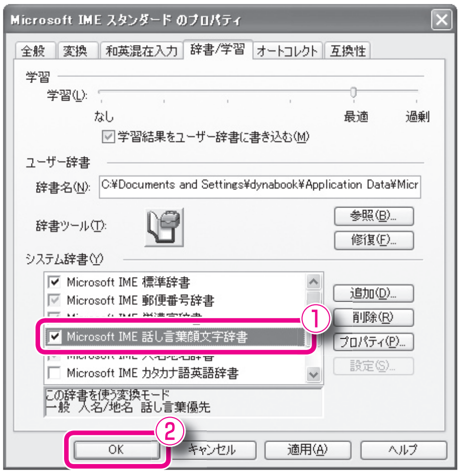




3 ［辞書／学習］タブをクリックする

4 ［システム辞書］の［Microsoft IME 話し言葉顔文字辞書］チェックボックスをクリックし①、（ ☑ ）の状態にする

5 ［OK］ボタンをクリックする②

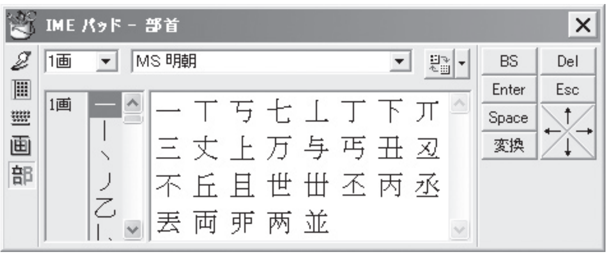


これで顔文字が入れられるようになりました。
「かお」を入力して［SPACE］キーを押すと、顔文字が表示されます。
このほかに、表のように「にこにこ」や「ごめん」など入力して［SPACE］キーを押すと変換できる顔文字もあります。

読みかたがわからない文字の入力はどうするの？



また、読みかたがわからない漢字や記号を探すこともできます。こんなときは、［IME パッド］を使うと便利です。
［IME パッド］は部首や総画数、手書き入力などからわからない文字を探しだすことができます。

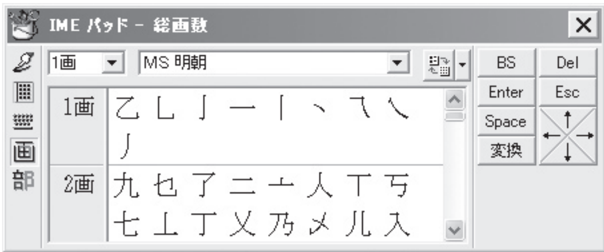


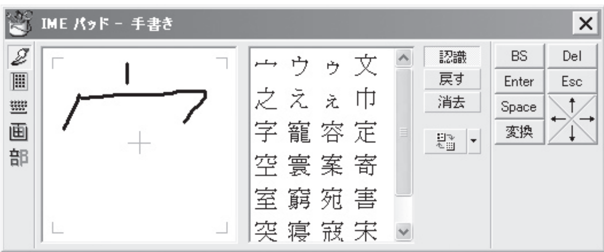
● 部首

漢字の部首から探します。部首を選ぶと、選んだ部首が使われている漢字の一覧が表示されます。

● 総画数

漢字の総画数から探します。総画数を選ぶと、選んだ総画数の漢字の一覧が表示されます。





● 手書き

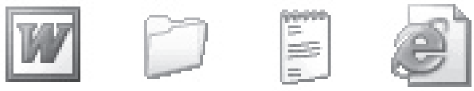
『消去』ボタンをクリックした後、「ここにマウスで文字を描いてください。」と書かれた部分に、ポインタで文字を書くと右側に似ている文字の一覧が表示されます。

このほかにもソフトキーボードや文字一覧などがあります。

7 ファイル、フォルダの管理をしてみよう

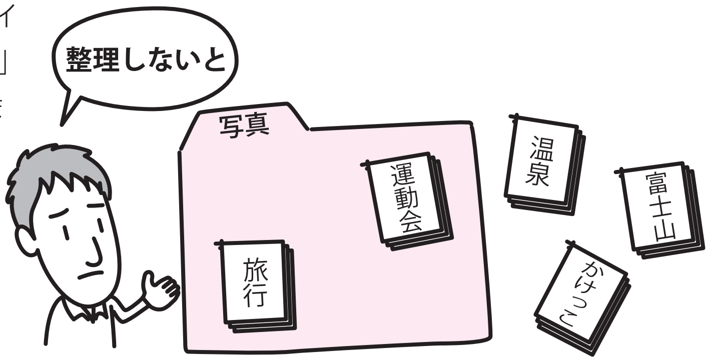
パソコン内の整理整頓？

パソコンのデータは、「ファイル」単位で保存・整理します。
ファイルには、文書、画像などいろいろな種類があり、ファイルの種類ごとに違うアイコンで表示されます。



これらのファイルをまとめて入れておくものを「フォルダ」といいます。フォルダの中にさらにフォルダを入れて、細かく分類することができます。

例えば、デジタルカメラで撮影した写真ファイルを保存するときを考えてみましょう。
あなたは写真ファイルが他のファイルと一緒にならないように、「写真」フォルダを作り、その中に保存しました。
しかし、写真ファイルをよく見ると、旅行の写真や運動会の写真などいろいろあり、分類したほうがよさそうですね。





「写真」フォルダの中に、さらに「旅行」フォルダと「運動会」フォルダを作成し、それぞれのフォルダの中にファイルを保存しました。
どうでしょう？わかりやすく保存できたのではないでしょうか？

パソコンでは、たくさんのファイルやフォルダが作成できます。ファイルやフォルダをきちんと管理しないと、どこに何があるかわからなくなってしまいます。
机の上と同じように、整理整頓を心がけましょう。

パソコン内でファイルやフォルダはどんな風にみえるの？

では、実際にパソコンの中でファイルやフォルダがどのように保存されているのか、見てみましょう。
まずは次の操作を行って、エクスプローラを起動しましょう。

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［すべてのプログラム］をクリックする②

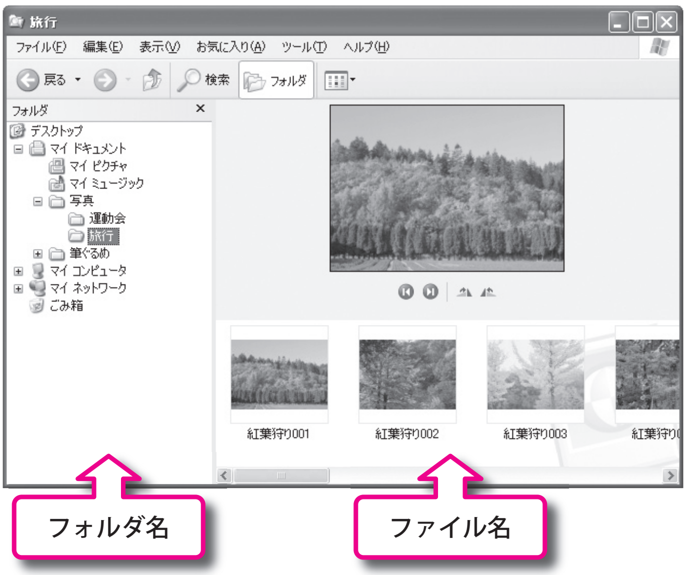
2 ［アクセサリ］をクリックし③、［エクスプローラ］をクリックする④



（表示例）

エクスプローラが起動しましたか？

エクスプローラの画面を見てみましょう。



（表示例）

大きく分けると、左側のエリアと右側のエリアの２つに分かれていますね。

右側のエリアには、主にドライブ名やフォルダ名が表示されます。

左側のエリアには、ファイル名やフォルダ名が表示されています。

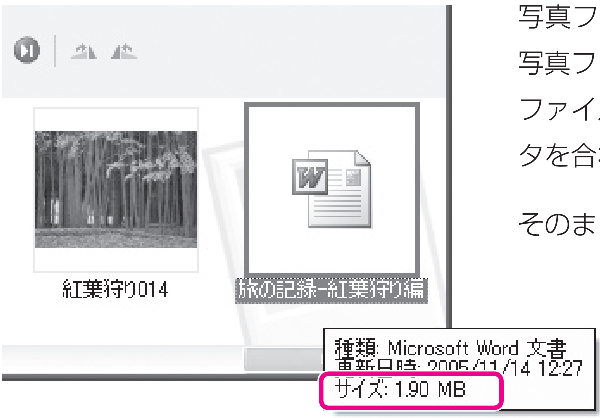
パソコンの中では、こんな風に整理整頓されているのですね。

8 ファイルやフォルダを圧縮してみよう

何のために圧縮するの？

パソコンの操作になれてくると、メールなどを利用して旅行の写真ファイルなどを友人に送ってみようと思うこともあるでしょう。

そのときに１つ覚えてもらうと良いことがあります。



写真ファイルをメールに貼り付けて送付する前に、写真ファイルの大きさを確認してみましょう。ファイルの大きさは、確認したいファイルにポインタを合わせると、表示されます。

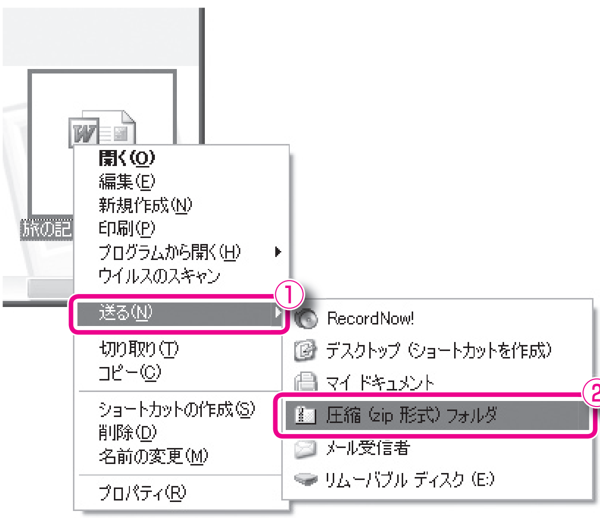
そのまま容量の大きい写真ファイルを送ってしまうと、メールの送信や受信に時間がかかってしまうことがあります。写真ファイルの容量を小さくして添付するとよいでしょう。ファイルの容量を小さくすることを「圧縮」といいます。

ファイルを圧縮するには圧縮するためのソフトが必要です。しかし、東芝のパソコンには、Zip という形式で圧縮するソフトが入っています。ファイルを圧縮してみましょう。

ファイルの圧縮は次の方法でできます。

1 圧縮したいファイルを右クリックする

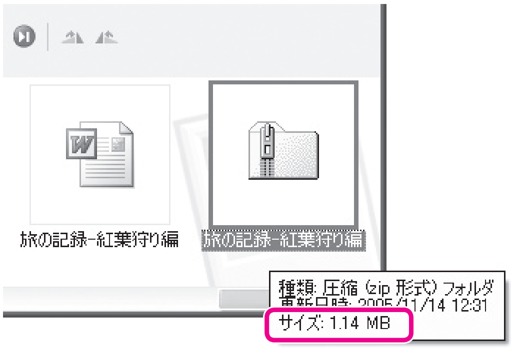




2 表示されたメニューの［送る］①→［圧縮（Zip 形式）フォルダ］②をクリックする

圧縮できました。

圧縮したいファイル名と同じファイル名で、容量の少ないファイルが作成されます。これが圧縮ファイルです。

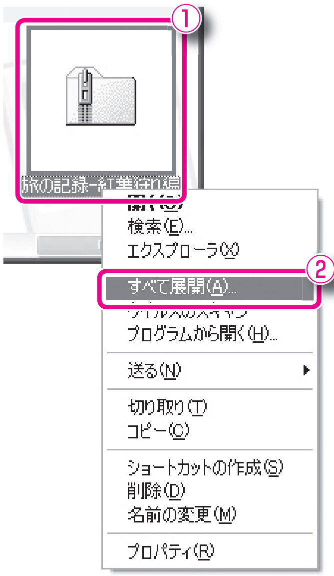


圧縮されたファイルをもらったらどうするの？

では、圧縮されたファイルをもらった場合はどうすればよいのでしょうか？

実はちゃんと圧縮されたファイルを元にもどす方法があります。圧縮されたファイルを元に戻すことを「解凍」といいます。

ファイルの解凍は次の方法でできます。



1 **解凍したいファイルを右クリックする①**

2 **表示されたメニューの［すべて展開］をクリックする②**
ウィザードが起動します。

3 **表示される画面に従って操作する**

これでファイルの圧縮も解凍も自由自在ですね？
すぐには使わないけれど、とっておきたいファイルなどはこのように圧縮し、必要なときに解凍すれば、ハードディスクの有効活用ができますね。
先ほどのフォルダと合わせれば、あなたも収納上手になることは、間違いありませんね。

> 圧縮したファイルを相手に送るときは、相手のパソコンにも解凍ソフトが入っていないと元に戻せません。相手のパソコンにも解凍ソフトが入っていることを確認してから送付しましょう。

9 CD / DVD の種類について

CD や DVD に種類があるの？

パソコンを使って CD で音楽を聴く、DVD で映画を観るといったこともできます。

また、写真ファイルや、自分で編集した映像データなどを CD や DVD に保存することもできます。
しかし、CD や DVD にもいろいろな種類があります。どんなときに、どの CD や DVD を使用したらよいのでしょうか？

まず CD や DVD の種類を見てみましょう。

● CD の種類

CD-ROM	COMPACT disc	読み出し専用の CD です。
CD-R	COMPACT disc Recordable	１度だけ書き込みができる CD です。
CD-RW	COMPACT disc ReWritable	書き込み、消去、書き換えができる CD です。

● DVD の種類

DVD-ROM	DVD ROM	読み出し専用の DVD です。映画などの映像が記録された DVD-Video も DVD-ROM の仲間です。
DVD-RAM	DVD RAM	ハードディスクと同じように、繰り返して書き換えができる DVD です。
DVD-R	DVD R	１度だけ書き込みができる DVD です。DVD-Video と同じ形式なので、DVD プレーヤやゲーム機でも再生できます。
DVD+R	RW DVD+R	１度だけ書き込みができる DVD です。DVD-ROM ドライブや DVD ビデオプレーヤでの互換性が高くなっています。
DVD-RW	DVD RW	書き換えができる DVD です。DVD-Video に準拠しています。
DVD+RW	RW DVD+ReWritable	書き換えができる DVD です。DVD-ROM ドライブや DVD ビデオプレーヤでの相互互換性が高くなっています。
DVD-R DL	DVD R R DL	１度だけ書き込みができる DVD です。片面２層（約 8.5GB）の大容量記録ができるため、映画番組などの保存に適しています。
DVD+R DL	RW DVD+R DL	１度だけ書き込みができる DVD です。片面２層（約 8.5GB）の大容量記録ができるため、映画番組などの保存に適しています。

どのように使い分ければいいの？

種類を大きく分けると、次の３つに分けることができますね。

① 書き込みができないもの
　（CD-ROM/DVD-ROM）

② １度だけ書き込みができるもの
　（CD-R/CD+R/DVD-R/DVD+R/DVD-R DL/DVD+R DL）

③ 書き込み、消去、書き換えができるもの
　（CD-RW/DVD-RW/DVD+RW/DVD-RAM）

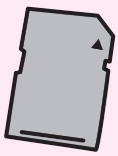
どんなときにどんなメディアを使えばよいのか、迷ってしまいますね。ひとつの使い分けの方法として、次のように使い分けるのはどうでしょう？

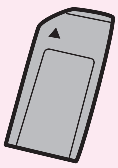
- TV 番組などの録画をビデオと同じ感覚で記録したり、保存した内容の書き換えを行いたい
  ⇨（DVD-RW/DVD+RW/DVD-RAM）
  容量が少ないなら ⇨（CD-R/CD+R）
- 人に写真や映像を配布したり、保管用に使いたい ⇨（DVD-R/DVD+R）
  ⇨ 容量が少ないなら（CD-RW）
- 長時間録画したい ⇨（DVD-R DL/DVD+R DL）

また、使うアプリケーションによっても使えるメディアが限定されていることもあります。アプリケーション別の使えるメディアについては、『活用ガイド』や『オーディオ＆ビジュアルガイド』をご覧ください。

使う目的に合わせて CD や DVD の種類を選びましょう。

東芝のパソコンには、CD ／ DVD のほかにも SD メモリカードやメモリースティックなど、いろいろなメディアカードが使えるモデルがあります。使うことができるメディアカードや、使い方については、『活用ガイド』をご覧ください。


SD メモリカード


メモリースティック

10 CD/DVDのセットと取り出しについて

CDやDVDをつかうにはとうすればよいの？

CDやDVDは保存だけでなく、アプリケーションのインストールや再セットアップなど、いろいろな場面で使います。CDやDVDは、パソコン本体に装備されているドライブにセットして使用します。
ドライブがセットされている位置は、購入したモデルによって異なります。
購入したモデルのドライブがパソコンのどの位置に装備されているかは、
『活用ガイド　1章　1 各部の名前』を参照してください。
また、CD／DVDをセットする前に注意事項もあります。セットする前に、『活用ガイド』をご覧ください。

CDやDVDのセットの方法は？

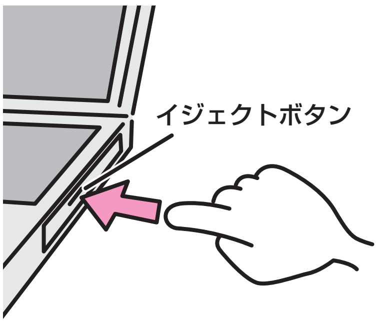
CD／DVDのセットの方法は、次のとおりです。

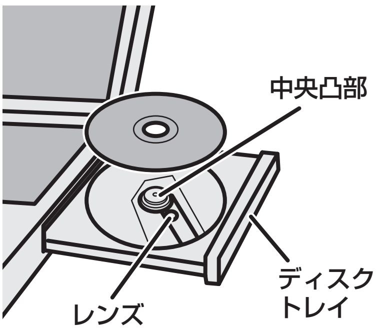
1 パソコン本体の電源を入れる

2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。

※ 購入したモデルによってイジェクトボタンの位置は異なります。





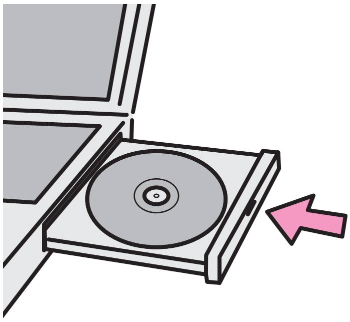
3 ディスクトレイを引き出す

CD／DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 文字が書いてある面を上にして、CD／DVDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部に合わせ、上から押えてセットする

「カチッ」と音がして、セットされていることを確認してください。

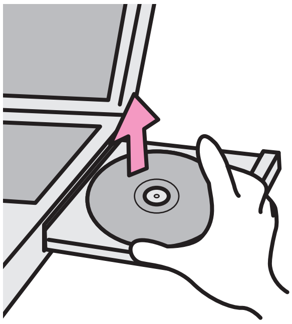
5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



CD や DVD を取り出すにはどうすればよいの？

CD ／ DVD の取り出し方法は、次のとおりです。

1 **パソコン本体の電源が入っているか確認する**
電源が入っていない場合は電源を入れてください。



2 **イジェクトボタンを押す**
ディスクトレイが少し出てきます。

3 **ディスクトレイを引き出す**
CD ／ DVD を載せるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 **CD ／ DVD の両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す**
CD ／ DVD を取り出しにくいときは、中央凸部を少し押してください。簡単に取り出せるようになります。

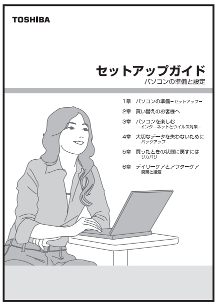
5 **「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す**

11 同梱されているマニュアルを見てみよう

Let's see the bundled manual.

さあ、ここからはあなたの目的に合わせた使いかたをしましょう。あなたのやりたいことができるようになるために、目的に合わせて、次のマニュアルが用意されています。

購入して最初にすることは？



● セットアップガイド

パソコンを購入して最初に行う作業について説明しています。Winodws のセットアップからインターネットやメールの設定、ウイルス対策など、パソコンを使い始めるときに必要な作業を説明しています。

また、パソコンを買い替えた場合のデータの移行方法や、購入したときの状態に戻す（リカバリ）方法なども紹介しています。

同梱物やパソコンの仕様を確認したいときは？

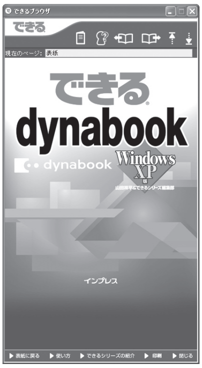
● 同梱物一覧

本製品に用意されている機器やマニュアル、アプリケーションを紹介しています。

● dynabook ＊＊＊＊＊シリーズをお使いのかたへ

本製品のメモリ容量やバッテリ駆動で使用できる時間など、細かい製品仕様を紹介しています。

パソコンの基本操作を知りたいときは？



● できる dynabook

文字入力やファイル操作、インターネット接続やメールの使いかたなど、パソコンの基本操作をレッスン形式で説明したオンラインマニュアルです。1レッスン完結を基本とし、すべての操作画面を掲載しているので、初心者でも迷わず、実際の操作を学ぶことができます。

● 起動方法

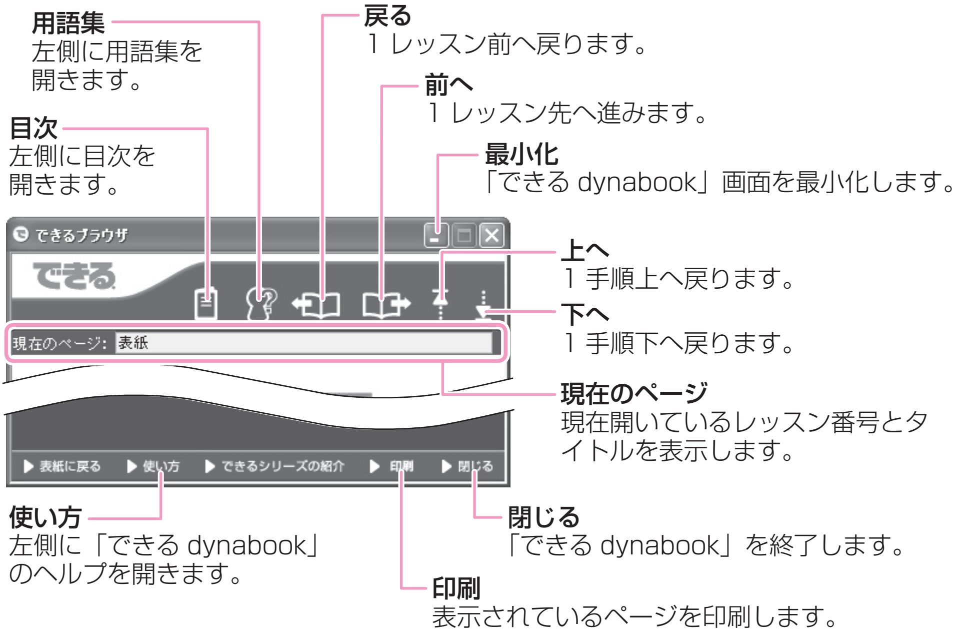
「できる dynabook」は次の手順で起動できます。

1 デスクトップ上の [できる dynabook] 【できる dynabook】をクリックする

「できる dynabook」が起動します。

次の内容を学習できます。

第１章　dynabook を使ってみよう	Windows 画面の説明から電源の切りかたまで
第２章　アプリケーションを使おう	文字入力やファイルの作成方法など
第３章　dynabook をインターネットにつなごう	インターネットの接続方法／操作方法など
第４章　メールを使ってみよう	「Outlook Express」を使ったメールの設定／操作方法など
第５章　ファイルの操作を覚えよう	フォルダやファイルの整理のしかたなど
第６章　dynabook を使いやすくしよう	デスクトップや時刻の変更方法など



「できる dynabook」は常に最前面に表示されるように設定されています。[☒ 最小化] ボタンをクリックすると、画面右下の通知領域にアイコンを残して表示が消えます。



元の大きさに表示を戻すときは、通知領域のアイコンをクリックしてください。

Start Guide

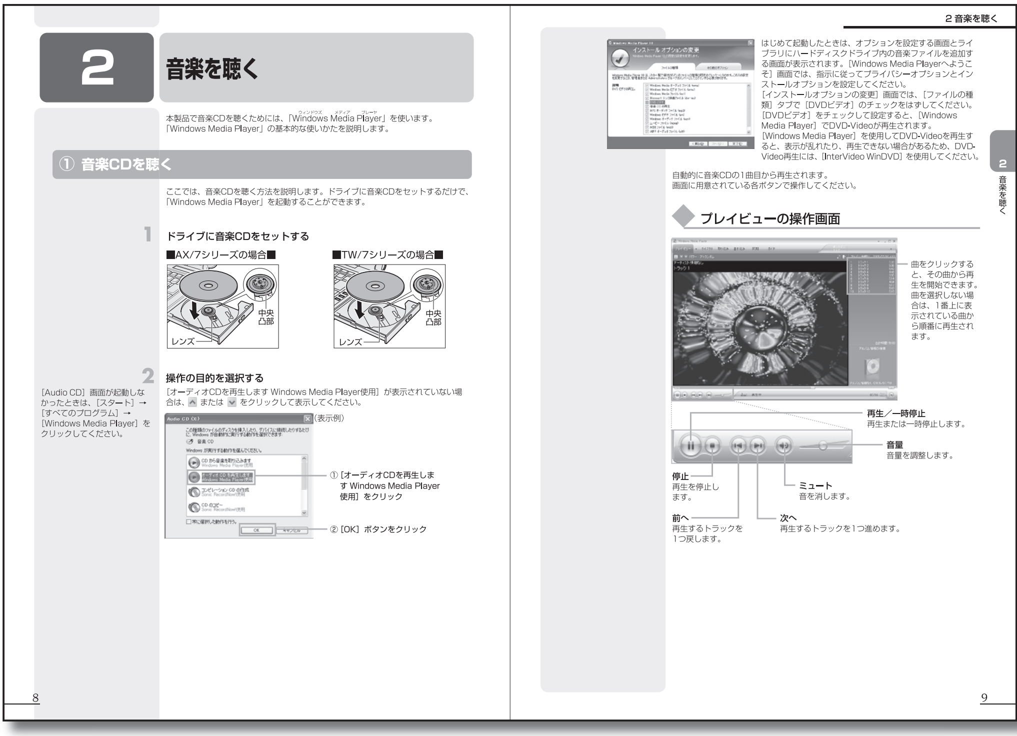
DVD を見たり、音楽 CD を聴いたりするにはどうするの？



● オーディオ & ビジュアルガイド

DVD をパソコンで見る方法や、自分の好きな曲を集めたオリジナル音楽 CD の作成方法など、オーディオ・ビジュアル機能の楽しみかたについて紹介しています。

パソコンで映像や音楽を楽しむための方法を知りたいときは、このガイドを読みましょう。



2 音楽を聴く

本製品で音楽CDを聴くためには、「Windows Media Player」を使います。
「Windows Media Player」の基本的な使いかたを説明します。

① 音楽CDを聴く

ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「Windows Media Player」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする

■AX/7シリーズの場合■

■TW/7シリーズの場合■

2 操作の目的を選択する

［オーディオCDを再生します Windows Media Player使用］が表示されていない場合は、^ または v をクリックして表示してください。

［Audio CD］画面が起動しなかったときは、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Windows Media Player］をクリックしてください。

（表示例）

① ［オーディオCDを再生します Windows Media Player使用］をクリック

② ［OK］ボタンをクリック

はじめて起動したときは、オプションを設定する画面とライブラリにハードディスクドライブ内の音楽ファイルを追加する画面が表示されます。［Windows Media Playerへようこそ］画面では、指示に従ってプライバシーオプションとインストールオプションを設定してください。
［インストールオプションの変更］画面では、［ファイルの種類］タブで［DVDビデオ］のチェックをはずしてください。
［DVDビデオ］をチェックして設定すると、［Windows Media Player］でDVD-Videoが再生されます。
［Windows Media Player］を使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があるため、DVD-Video再生には、［InterVideo WinDVD］を使用してください。

自動的に音楽CDの1曲目から再生されます。
画面に用意されている各ボタンで操作してください。

◆ プレイビューの操作画面

曲をクリックすると、その曲から再生を開始できます。曲を選択しない場合は、1番上に表示されている曲から順番に再生されます。

再生／一時停止　再生または一時停止します。

音量　音量を調整します。

停止　再生を停止します。

ミュート　音を消します。

前へ　再生するトラックを1つ戻します。

次へ　再生するトラックを1つ進めます。

8　9

● 記載内容

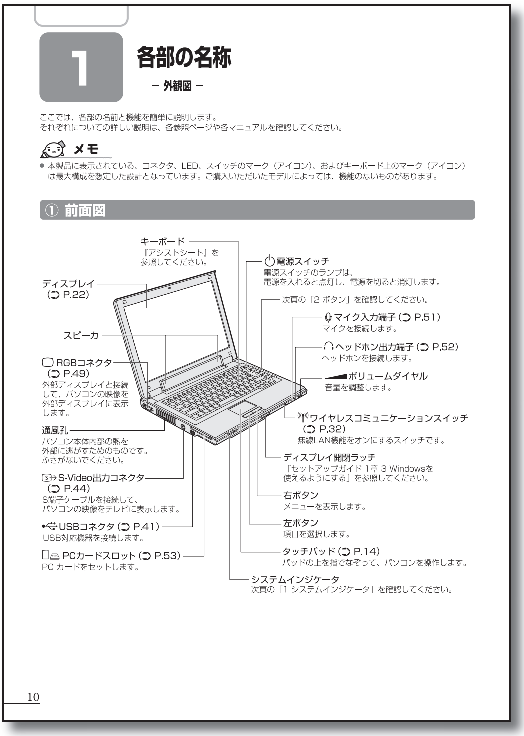
DVD の映画や映像を観る／音楽を聴く／オリジナル音楽 CD を作る／音楽の環境を整える／CD や DVD への書き込み方法　など

プリンタなどの周辺機器をつなげるにはどうするの？

● 活用ガイド



お使いのパソコンでどんな周辺機器が使えるか、接続のしかたや機器を使うときに気をつけていただきたいことについて紹介しています。
パソコンの基本操作からネットワークへの接続、周辺機器の接続などを知りたいときは、このガイドを読みましょう。
また、パソコンの動作がおかしいな？と思ったら、このガイドで解決策を見つけることができます。



1 各部の名称
－ 外観図 －

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明は、各参照ページや各マニュアルを確認してください。

メモ
● 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

① 前面図

10

● 記載内容

1 章　パソコンの基本操作を覚えよう／2章　ネットワークの世界へ／3章　周辺機器を使って機能を広げよう／4章　バッテリ駆動で使う／5章　システム環境の変更／6章　パソコンの動作がおかしいときは

どんなアプリケーションがはいっているの？



● オンラインマニュアル

「オンラインマニュアル」は、お使いのパソコンに搭載されているアプリケーションとお問い合わせ先、用語集などが説明されています。

● 起動方法

「オンラインマニュアル」は次の手順で起動できます。

1 デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコン（）をダブルクリックする

「オンラインマニュアル」が起動します。

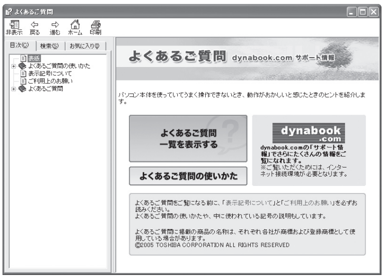
次の内容を説明しています。

パソコンの使いかた	本製品にプレインストールされているアプリケーションを使ってできること
知っておくと便利	省電力の設定や複数のキーを押して変更できる設定など、一歩進んだ操作やインタフェースの仕様など
困ったときは	操作に困ったときや動作がおかしいときの確認事項、Q&A など
お問い合わせ先	アプリケーションやプロバイダのお問い合わせ先
用語集	一般にパソコンを使うときに画面や説明書に出てくる用語の説明

どうやったらよいか迷ったときは？

よくあるご質問

「よくあるご質問」は、東芝 PC サポートにご連絡いただく、特にお問い合わせの多い内容が載っているオンラインマニュアルです。このマニュアルに疑問の回答が載っているかもしれません。



トラブルが発生したときは？



活用ガイド

トラブル解消法や基本的な Q&A を紹介しています（総括的な Q&A は、≪オンラインマニュアル≫にあります）。
アプリケーションやプロバイダのお問い合わせ先も載っています。

東芝 PC サポートのご案内

修理や訪問サポートの窓口など、サポート体制についてご紹介しています。
＊ ご購入の時期によって、表紙は異なることがあります。



どうでしたか？パソコンを使っていろいろやってみようと思いましたか？あなたがパソコンとうまく会話できるようになれば、とても便利なものになりますよ。さあ、今日からあなたもパソコンと会話ができるようにがんばりましょう！！

スタートガイド

PRINTED WITH SOY INK™ この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 東芝 PC&ネットワーク社
PC第一事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000BW110
Printed in China